

# ノーサイド

北原 巖 男

あと80日ほどに迫りました。初めてアジアで開催される「ラグビーワールドカップ2019日本大会」。

9月20日から11月2日まで、全国12の会場で熱戦が展開されます。参加20チームは、5チームずつ4つの「プール」に分けられ、日本は、アイルランド、スコットランド、ロシア、サモアと一緒に「プールA」。

まずは、この5チームによる

る総当たり戦。くじ運が良かったとも言われる日本です。何としても3勝して、初の決勝リーグ進出を勝ち取らなければなりません。

第1戦は、9月20日のロシア戦。東京スタジアムで行われます。「頑張れプレイブ プロッサムス 勇敢な戦士たち」と言いた

いところですが、全国の自衛隊員・家族の皆さん、OBの皆さん、防衛ホームの読者の皆さんそして国民の皆さんには、その前に是非全力応援していただきたいもう一つのワールドカップがあるのです！

それは、9月8日〜24日まで防衛省が主催する「国際防衛ラグビー競技会（IDRRC）」のこと。（IDRRC: International Defence Rugby Competition）

まずは、この5チームによ

る。2011年からワールドカップに合わせて開催され今回は3回目。キャッチフレーズは「ラグビーが繋ぐ、世界の戦士の絆」

防衛省は、開催目的について「ラグビー競技を通じて交流により、各国軍との相互理解を含め、信頼関係を強化し、もって我が国と諸外国との防衛協力・交流

を推進するとともに、政府

を強化し、もって我が国と諸外国との防衛協力・交流

## ラグビーの

## ワールドカップ

を推進するとともに、政府退の屈辱を味わっています。今回は開催国としての意地もあり、リベンジに燃えていることでしょう。

5月に行われた事前合宿には、全自衛隊約600名のラグビー部員の中から選ばれた陸40名、海4名、空1名の精鋭たちが参加しました。今後、登録メンバーとしてイギリスの招待団

30人まで絞り込んでいくこ

9チームと自衛隊チームの10チームがトーナメント方式で戦います。会場は、朝霞駐屯地（練馬区）、習志野演習場（船橋市）、柏の葉公園総合競技場（柏市）。

一般公開。入場無料。（詳細は、防衛省ホームページをご覧ください）

自衛隊チームは、前回（2015年）初参加し予選敗

志野演習場で行われます。荒っぽいラグビーのフランスが勝ち上がって来るのではどの予想がもつぱらです。勝てばイギリスとジョージア戦の勝者との準決勝に進むことが出来ます。

夢は広がりワクワクしませんか？皆さん、全力で応援しましょう！

前回、フィジーに決勝で負けたイギリスも、これまで陸・海・空軍ごとにチームを出していたやり方を

海・空のラグーマンたち！陸海空3自衛隊員による卓越した統合運用を以て堅実なディフェンス・スピード・俊敏性をフルに発揮し、優勝を目指して欲しいと思います。

また隣国韓国とパプアニューギニアは、ワールドカップには出場しませんが、

「国際防衛ラグビー競技会」が、同国のラグーマンの皆さんを応援する貴重な機会になります。韓国の初戦は9月11日のフィジー戦。

「国際防衛ラグビー競技会」を盛り立てましょう！選手も、あなたも私もYES、ONETEAM！です。

北原 巖 男

（きたはらいわお）  
元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現（一社）日本東ティモール協会会長。（公社）隊友会理事